



ここは虫たちが暮らす小さな巣。

虫たちはそれぞれの仕事をしながら仲良く暮らしています。

巣の住人の中、蝶と蜂のお仕事は外から花の蜜を集めてくること。

2匹は今日も、外へ蜜を集めに出かけます。

はじめは真面目に蜜を集めていた2匹。

しかし蝶は、面白そうな木の穴を見つけてしまいました。

「わあ、これは何の穴なんだろう。」

蝶は蜜を集めるという仕事も忘れてふらふらと穴の方へ。

気づいた時には蜜を集めないまますっかり日が暮れてしまいました。

「いい加減にしてよ！いつもいつも僕ばかりが蜜を集めて

君はちっとも仕事をしないじゃないか！」



はち おこ ちょう  
蜂に怒られて蝶 はしょんぼり。

そう、ちょう みつ あつ わす  
蝶 が蜜を集めることを忘れたのはこれが初めてではありません。

ちょう おもしろ  
蝶 はいつでも面白そうなものを見つくと、そっちが気になって

しごと わす  
仕事を忘れてしまうのです。

ほか むし しごと おも  
他の虫たちからは仕事をさぼるだめなやつだと思われているのです。

「どうして僕はこうなんだろう…」

じぶん なお ちょう きょうみ  
自分でも治したいのにどうしたらいいかわからない蝶。興味のあるものを見つ

けるとしなくてはいけないことを全部忘れてしまい、みんなから叱られてしま

います。仕事が出来なくて巣の仲間から呆れられ、嫌われていく蝶。どんどん

こどく  
孤独になっていきます。

どうしたらいいかわからないまま月日だけが経ってしまいました。



そんなある日のことです。巢に新しい仲間がやってきました。アゲハ蝶です。

アゲハ蝶の仕事は、蜂や蝶と同じ蜜集め。だけどアゲハ蝶は蝶と違い、

どこかへふらふらと行ったりしないし、蜜もたくさん集められます。

「同じ蝶なのに、アゲハ蝶くんは蝶くんとは全然違うなあ」

そんな風に比べられ、ますます落ち込む蝶。

そんな日々が続いたある時、蝶はアゲハ蝶に話しかけられます。

「君は、甘くておいしい蜜を集めるのは嫌いなのか？」

蝶は、

「違うよ…。ぼくだってちゃんとしたのに他の面白そうなものを

見つけると忘れちゃうんだ。何でもできる君にはわからないよ。」

と答えました。それを聞いたアゲハ蝶はにっこり笑って、

「なんだ、そうだったの！昔のぼくと同じだね。上手な方法を教えるよ！」

と言いました。



その次の日から、アゲハ蝶と一緒に行動するようになった蝶。

「まずは、やらないといけないことをメモしていつでも  
持っておくんだ」

と言われ、メモを作りました。そして、2匹で一緒に蜜集めへ。

「あっ、あれはなんだろう」

いつものようにふらふらと飛んで行こうとした蝶にアゲハ蝶が、

「まって、蝶くん、メモを見て！」

言われてメモを見た蝶は

「あっ、そうだった。先に蜜を集めなきゃ！」

無事 蜜集めに戻ることが出来ました。

「なんだ、蝶くんメモがあればできるじゃない。」

アゲハ蝶に褒められ嬉しい蝶は、張り切って蜜集めを頑張りました。



「次は、アラームのついた時計をメモと一緒に持っておくんだ」

そう言われ、時計とメモと一緒に持つようになった蝶。

「あっ、あれはなんだろう」

「蝶くん、蜜集めは？」

「でも、どうしても気になるんだ。」

「うーん、じゃあ、時計のアラームを使おう。15分経ったら

戻ってくるって約束できる？」

「うん、わかった。約束するよ！」

そうして、面白そうなものへ飛んで行った蝶。つつい時間

忘れてしまいそうになるけれど、時計のアラームが鳴ったおかげで

約束の時間を思い出し、戻ってくることができました。

「時間ぴったり！戻ってこれたね！じゃあ、このあとは

蜜集めを頑張ろう！」

アゲハ蝶にまた褒められ、うれしそうな蝶。

この日も張り切って蜜集めを頑張りました。



そんな日<sup>ひ</sup>が1日<sup>いちにち</sup>続き、2日<sup>にか</sup>続き、数<sup>すう</sup>か月<sup>つき</sup>もすると、

蝶<sup>ちょう</sup>を見る<sup>み</sup>他の<sup>た</sup>虫<sup>むし</sup>たちの目<sup>め</sup>はすっかり<sup>か</sup>変わって<sup>い</sup>ました。

「蝶<sup>ちょう</sup>のやつ、<sup>か</sup>変わった<sup>な</sup>なあ…真<sup>ま</sup>面目<sup>じめ</sup>になった」

「<sup>くふう</sup>ちょっとの工夫<sup>で</sup>こんなに<sup>いっしょうけんめい</sup>一生<sup>で</sup>懸命<sup>き</sup>出来る<sup>やつ</sup>だったんだな」

こうして、いろん<sup>むし</sup>な虫<sup>たち</sup>から<sup>ほ</sup>褒められる<sup>よう</sup>になった<sup>ちょう</sup>蝶<sup>は</sup>

ますます<sup>は</sup>張り切<sup>き</sup>ります。

こうして<sup>ちょう</sup>蝶<sup>は</sup>仕事<sup>しごと</sup>をさぼってばかりの<sup>きら</sup>嫌われ者<sup>しや</sup>ではなく、

<sup>はたら</sup>働き者<sup>もの</sup>のみんなから<sup>す</sup>好かれる<sup>むし</sup>虫<sup>に</sup>なった<sup>ので</sup>です。

めでたし、めでたし。

これは、私の子どもの時のできごとを基に書いたお話です。  
やる気がなさそうに見えても、工夫次第でできるようになることも  
あると知って欲しくてこのように絵本という形で制作しました。  
この本を読んで、いろいろな「作戦」を立てながら楽しんで  
色々なことに挑戦する気持ちを持ってもらえたら嬉しいです...



story : Yuka Kawajiri

illustration : Michiko Nishiyama

layout : hitomi